



患者とのコミュニケーションの工夫により マイナ保険証利用率と電子処方箋の利用率向上を実現！

POINT: 「健康保険証をお持ちですか？」ではなく、患者に「マイナ保険証」の提示を呼びかけ！

POINT: マイナ保険証の利用で患者が得られるメリットを、実際の電子カルテの確認画面をみせて実感してもらう！

POINT: 自院では、電子処方箋への一本化を目指している旨を患者に周知！

【参考】^{いのち}井口医院（広島県）

マイナ受付を促進するための取り組み

✓ 来院した患者が受付をする際の声かけの工夫

- ① 受付の際は、「健康保険証をお持ちですか」ではなく、「**マイナ保険証を提示してください**」と患者に声をかける。
- ②（マイナ保険証を持っていない場合）令和6年12月のマイナ保険証への移行を見据え、**早期に慣れておくことが患者にとっても良いことを説明し**、マイナ保険証で顔認証付きカードリーダーを利用してみることを促す。

✓ マイナ保険証利用で患者が得られるメリットを説明する際の工夫

マイナ保険証で同意をすると、医師が確認できる情報を、**実際に電子カルテ上の画面から患者に見てもらうこと**で、どのように医療の質の向上に繋がるかを理解し、**患者にとっても安心であること**を実感してもらう。

電子処方箋の利用を促進するための取り組み

✓ 患者へ電子処方箋を発行することの説明の工夫

処方箋の発行形態について、**電子処方箋への一本化を目指している旨を患者に伝えつつ**、実際の運用に慣れてもらう。



院長
井口 雅之さん

患者さんが、皆マイナ保険証の利用に否定的というわけではありません。周りが使うようになれば、皆付いてくるので、**マイナ保険証や電子処方箋が当たり前の雰囲気を作っていくことが重要です**。高齢の患者さんの中には、デジタル技術への不安を感じている方がいますが、**実際には想像よりも簡単だと感じていただけているようです**。「マイナ受付ができた」「電子処方箋が使えた」という経験が、患者さん自身の自信や嬉しさにも繋がっています。マイナ未取得の施設入所者などに対し行政の当院への出張受付も行なっています。慣れてきた患者さんには、患者間のコミュニティで口コミで広めてもらっています。**医療DXに患者さん自身に自然と参加してもらうことも重要です**。デジタル化・医療DXは進む方向にしかいきません。患者さんも医療従事者もどちらも早期に慣れていきましょう。

患者にマイナ受付や電子処方箋を利用いただくことで、医療機関等で活用できるデータも充実させることができます。